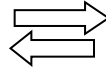


1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質

学校教育目標
豊かに学び、ともに未来をひらく 太尾の子



教育課程全体で育成を目指す資質・能力
〈言語能力〉 〈問題発見・解決能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標

【豊かに学ぶ太尾の子】

基礎学力を充実させるとともに、主体的に学び合う授業、体験豊かで探求的な学習活動、特別支援教育の充実により、話す・聴く力、問題を見つけ解決する力を伸ばし、その子らしい豊かな学力を育てます。また充実した道徳授業や丁寧な児童指導、いじめ防止対策を推進することで、自己肯定感が高く思いやりの心が豊かな、健康で行動力のある子どもたちを育てます。

【ともに未来をひらく太尾の子】

ふとおの時間を柱とした教育課程の再構築と、保護者や地域との連携等による安全・安心で持続可能な体制づくりによって、地域の自然と社会、人に学び、地域を愛し、地域に生き、持続可能な社会の未来をひらく力のある子どもたちを育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①全職員で指導の重点を「学力向上アクションプラン」として取り組み、特別支援教育を充実させ全ての子どもたちが主体的に取り組む授業づくりを目指す。 ②共同研究では、子どもたちが学び合いに必要な「聴き方」「話し方」を身に付け、「考え」をつなぎ合い、理解を深めていく学習を目指す。カリキュラムマネジメントの充実を図り、学習指導要領に基づいた教育課程を作成する。
担当	確かな学力部会

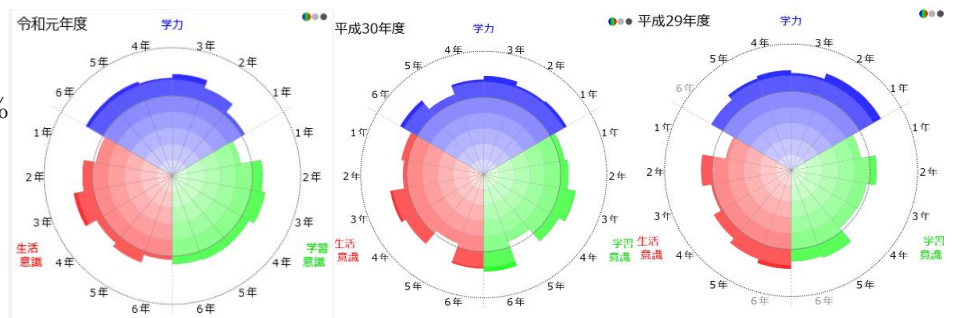
2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

- 学力はどの学年も、全教科市平均を上回っている。
- 各教科において、「基礎」「活用」の力が共に市平均を上回る。日々の学年研究、共同研究などを通じて、子どもたち一人ひとりの思いを見取りながら、主体的に問題解決を進めていく授業、子どもたち同士がお互いに伝え合いながら、理解を深めていく学びの研究の成果が見え始めている。

(2) 学力層を経年変化で捉えた分析

同じ児童集団の学力層を経年で捉えたときに、学力層Dの児童が3年前と比べ、4%ほど減り、全体の12~14%となっている。特別支援教育を充実させ、すべての子どもたちが主体的に学習に取り組む姿を目指した授業改善の成果が表れてきている。特に算数科において、学力層Aの増加（5年前より10%上昇し、43%）と学力層Dの減少（5年前より6%減少し、12%）が顕著に見られる。他教科においても、引き続き子どもたちが主体的に問題解決を進めていく学習を目指して、研究を進めていく。



(3) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析

「自分にはよいところがあると思いますか。」「自分のことが好きだと思いますか。」という項目において、「そう思う」と答えた児童の割合が高い学年は、学力が高い傾向が見られた。自己肯定感が低い児童の割合が高い学年では、学力が他学年と比べ、やや低い傾向が見られた。教師が児童一人ひとりの思いや願いを丁寧にくみ取り、認めていく児童理解を大切にし、子どもたちが安心して学校生活を送り、自信をもって自分を表現できるような「子供が主語となる授業」作りに全教職員で取り組んでいく。

「町の行事に参加していますか。」という項目では、参加している児童の割合が高かった。地域のボランティアの方が学習や行事等で支援をしてくださる等、地域と保護者、学校との連携が進んでいることで、児童が地域へと目を向けるようになった。三者の連携が児童の学校生活を安定させていると考えられる。

3 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の思いを受け止めて聞く力 ○問題を発見する力 ○他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通して、自分の思いや気付いたことを伝える力を大切にする。 ○周囲のものに興味をもち、進んで自分からはたらきかけられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通して、自分が考えたことを相手に伝えたり、相手の思いを受け止められたりできるようにする。 ○地域の方やものと関わり、自分がやってみたいことを見つける。
2年		<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通して考えた自分の考えを話したり書いたり、相手の思いを受け止めて聞けるようにする。 ○地域の方やものとかかわる場を設けることで、地域の人や場所への愛着を高められるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の思いや考えを受け止めて、相手を理解しようとする態度を育てる。 ○地域の方やものに進んで関わり、その中で自分がやってみたいことを見つけ、実際にやってみる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○伝える内容を明確にする力 ○試行錯誤する力 ○思考するための言葉の力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が伝えたいことを明確に伝えるために考えて話そうとしている。 ○既習の学習事項や自らの経験などを生かして、自分で考え課題解決に向けいろいろ試している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝えたいことが明確になるよう、思考するための言葉の習得を図る。 ○課題解決に向け、自分で考えた方法を進んで試している。
4年		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の目の前にある課題を解決するために、自分で考えた方法を試そうとしている。 ○話合いや子ども同士で学び合う時間を設けることで、自分の考えを明確にし、相手の意図や目的に応じて言葉を選んで表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分から課題を見つけ、その解決に向けいろいろな方法を試してみる。 ○自分の考えを明確にするため、自分で言葉を選び、相手の意図や目的に応じて自分の考えを伝えている。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○問題解決の過程を振り返る ○考えを出し合って新提案する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、考えを深められるようにする。 ○資料を効果的に活用し、考える力、調べる力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、考えを深めさらに考えたことを表現する。 ○資料を効果的に活用し調べたことをもとに、自分で考えたことを友達に提案する
6年		<ul style="list-style-type: none"> ○様々な事象を広い視野で見たり、推論したりしながら、問題解決のために追究する学びを大切にする。 ○友達の考えを聴くことにより、自分の考えを深め、自分の成長を意識できるような活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝え合うことで自分の考えを深め、新たに考えたことを提案していけるようにする。 ○問題解決の過程を振り返り、次に生かせそうなことについて考える。
個別 支援 学級	<ul style="list-style-type: none"> ○感じたことを言葉にする力 ○問題を理解する力 ○身近な事象に積極的に関わる態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画、指導計画に基づき、個に応じた学習や小グループでの学習を行い、基礎的な力を伸ばすと共に、自分の思いや考えをもてるよう支援する。 ○生活や学習での具体的場面や友達との関わりを通して、一人ひとりのコミュニケーションスキルを伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた学習や小グループでの学習を行い、基礎的な力を伸ばすと共に、思いや考えを自分なりの方法で表現できるよう支援する。 ○生活や学習での具体的場面や友達との関わりを通して、一人ひとりのコミュニケーションスキルを伸ばす。